

さいたま市 マスク着用で「個人判断尊重」

3/9 産経新聞



さいたま市の清水勇人市長は9日の記者会見で、13日以降の市職員の勤務時間内のマスク着用について、国の方針と同様に「個人の判断に委ねることを基本とする」と発表した。ただし医療機関や高齢者施設などで勤務、訪問する場合や、市民と窓口で対応する場面ではマスク着用を基本とするとした。

3年にわたり、マスク着用が続いてきたことから、マスクを外すことに不安を感じる市民に

対し、「当面の間、不安を抱く人に寄り添いながら、職員がマスクを着用する場面を適切に定め、段階的に歩みを進めつつ、日常を取り戻していくことに努めたい」として、理解を求めた。

さらに「13日以降も基本的な感染対策は重要」と指摘した上で、「引き続き「3密」の回避や手洗い、換気などの取り組み継続をお願いしたい」とし、「本人の意思に反したマスク着脱の強制がないよう、個人の判断が尊重されるよう配慮を」と呼び掛けた。

【アンケート結果】コロナ収束後もマスク使いたいのか？

